

地方経済情報 Weekly No.290

「デザインの力」を活用した新たな経営

1. 多くの地域事業者が予測困難な環境変化に直面

ICTやAI技術の発展、気候変動、新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて、「VUCA(※)」と呼ばれる要素が増大し、多くの地域事業者が予測困難な環境変化に直面しています。

そのような中、新たな経営手法として、「デザイン経営」が注目され始めています。

※Volatility (変動性) ・ Uncertainty (不確実性) ・ Complexity (複雑性) ・ Ambiguity (曖昧性)

2. 「デザインの力」を活用してイノベーション等を実現

「デザイン経営」とは、課題発見から課題解決への方法論の構築など、変革に向けて「デザインの力」を企業経営に活用するものです。

様々なモノやコトの意匠計画や図案、設計等を手掛けるデザイナーは、常に生活者目線で商品の良し悪しを考え、「どうすればお客様に喜ばれるか」を考えています。お客様目線で経営者に提言し、時には苦言を呈し、ニュートラルな立ち位置で経営に携わることも可能です。それにより、課題解決や企業が進むべき方向性などがクリアに見えてくると思われます。

3. 外部との連携による「デザイン経営」実践の可能性

「デザイン経営」は、これからの社会変化に対応するための方法論の一つであり、その導入は地域事業者にこそ必要なミッションであると考えられます。

しかしながら、自社でそのような人材を雇用、育成することに拘る必要はありません。リモートを活用しながら、デザインに強い人材を副業人材として受け入れるなど、外部との連携で「デザイン経営」に取り組むことも可能であると思われます(図表1、地域事業者の事例)。

弊研究所の「事業ニーズ共有化システム」には「デザイン経営」をサポートする案件が掲載されていますのでご利用ください(図表2)。

※「事業ニーズ共有化システム」へのアクセス(QRコード)はこちら ⇒



図表1 「デザイン経営」の取り組み事例 ～(株)一新堂(佐賀県)～

図表2 「事業ニーズ共有化システム」に掲載のデザイン経営の支援案件



自社オリジナルの組み立て式収納ボックス「ISSHINDO FOLDING BOX」

- ・創業1956年、資本金1千万円。包装業界は代理店を介した受注構造で価格競争に陥りがちであった。
- ・企業のビジョンから共に考えて欲しいとデザイナーにメールで熱意を伝え、自社の手貼り技術の優位性を活かしたオリジナル商品を開発。
- ・組み立て式の収納ボックスは2018年のグッドデザイン賞を受賞するなど、高い評価を受けている。
- ・コロナ禍でも売り上げは拡大。

登録日	2021年8月19日
事業者所在地	熊本市中央区
件名	顧客・消費者の視点から、事業の仕組みの課題・事業の方向性をイノベーションする
具体的内容	「デザイン(思考)経営」は、これからの社会変化に対応するための方法論の一つであり、その導入は地域事業者にこそ必要であると考えています。是非、お気軽にご相談ください。

資料：特許庁「中小企業のためのデザイン経営ハンドブック ～みんなのデザイン経営～」、(株)一新堂ホームページ

担当：主任研究員 吉住